

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引させていただきます。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2009.12.1～2009.12.31受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

*水俣病にたいする企業の責任 復刻版	水俣病研究会	熊本学園大学水俣学研究センター	A5.402	07.3
*いのちの格差社会	患者の権利オンブズマン編	明石書店	B6.207	09.10
*心をつなぐ左翼の言葉	辻井喬著 浅尾大輔聞き手	かもがわ出版	B6.237	09.10
*ヒューマンエラーは裁けるか シドニー・デッカー著 芳賀繁監訳		東京大学出版会	B6.281	09.10
*マルクス自身の手による資本論入門				
ヨハン・モスト原著 カール・マルクス加筆・改訂 大谷禎之介訳		大月書店	B6.208	09.10
*貧困問題とは何であるか	下村恭民, 小林誉明編著	勁草書房	B6.294	09.11
*環境と平和	和田 武	あけび書房	A5.140	09.6
*人権で世界を変える30の方法	ヒューマンライツ・ナウ編	合同出版	A5.143	09.6
*面白いほどよくわかるマルクスの資本論	土肥誠監修	日本文芸社	B6.222	09.8
*水俣病論文三部作 復刻		熊本学園大学水俣学研究センター	B5.79	09.8
*TOKYO大学博物館ガイド	大坪 覚	ブルース・インターアクションズ	A5.127	09.9
*国家の貧困	森田実, 雨宮処凛	日本文芸社	B6.269	09.9
*テキストブック現代の人権 第4版	川人 博編著	日本評論社	A5.238	09.9

1. ジェンダー・フェミニズム・女性論

無償労働のなかの「見えない」家事	藤田朋子	女性学	16	09.3
特集 エイジングなんてこわくない? 「老い」とフェミニズム 女たちの21世紀			59	09.9
エイジズムは女性に対する差別 (オールド・ウィメンズ・プロジェクト) 女性差別賃金が生む老後の貧困 (関千枝子) 老いてひとりになっても安心して暮らせる地域政策とは (船橋邦子) 高齢者虐待とジェンダー (小川孔美) 私にとっての「老い」 (大島かおり)				
晩年エンゲルスの家族論はマルクスのジェンダー認識を継承しているか (1)	青柳和身	岐阜経済大学論集	43-1	09.9
ドイツにおける男女平等・ジェンダー・メインストリーミング政策の展開と男子援助活動 (1)～(2)	池谷壽夫	日本福祉大学社会福祉論集	119, 120	08.8, 09.3
女性をとりまく状況は、いま	船橋邦子	まなぶ	626	09.10
*日本の女性政策	坂東真理子	ミネルヴァ書房	A5.227	09.10

2. 労働論

労働の尊厳を求めて (講演) (高木 剛)		月刊労委労協	641	09.9
A strategic model of technology adoption and labor specialization	Sugato Dasgupta	Keio economic studies	45	08

3. 労使（資）関係論					
ワーク・ライフ・バランスの再構築を目指す労使の課題	服部良子	労使研	134	09.9	
雇用・賃金調整の現状と労使の課題（講苑）（荻野 登）		中央労働時報	1107	09.9	
交渉内容別に見た労使協議制度の運用とその効果	梅崎修, 南雲智映	日本労働研究雑誌	591	09.10	
4. 労働経済論（含 賃金論）					
*叢書・働くということ 2巻	大橋勇雄編著	ミネルヴァ書房	A5.334	09.5	
5. 経営労務論					
*人事制度の日米比較	石田光男, 樋口純平	ミネルヴァ書房	A5.243	09.10	
6. 社会政策論					
*オーストラリアにおける社会政策	アリソン・マクレラン, ポール・スミス編	新潟青陵大学ワークフェア研究会訳	第一法規	A5.351	09.9
7. 社会保障論					
*生活保障	宮本太郎	岩波書店	B40.247	09.11	
*日本社会保障制度成立史論	田多英範	光生館	A5.261	09.11	
*貧困を救うのは、社会保障改革か、ベーシック・インカムか	橋本俊詔, 山森亮	人文書院	B6.302	09.11	
8. 社会福祉論					
*居住の貧困	本間義人	岩波書店	B40.235	09.11	
*世界の社会福祉年鑑 2009	萩原康生, 松村祥子, 宇佐見耕一, 後藤玲子編	旬報社	A5.498	09.12	
9. 産業・労働社会学					
*シリーズ現代の産業・労働 第1巻	北川隆吉監修 浅野慎一編著	学文社	A5.170	09.9	
11. 職業教育・訓練論					
*ポストドクター問題	国立教育政策研究所, 日本物理学会キャリア支援センター編	世界思想社	A5.298	09.6	
*スポーツ心理学者が教える「働く意味」のを見つけ方	杉浦 健	近代セールス社	B6.206	09.7	
*自律の人材になるためのキャリア・マネジメントの極意	船引英子	ナカニシヤ出版	B6.222	09.9	
*専門職養成の日本的構造	橋本鉦市編著	玉川大学出版部	A5.255	09.9	
II 労働問題					
20. 総 記					
私の労働研究（講演）	熊沢 誠	大原社会問題研究所雑誌	611/612	09.9/10	
21. 雇用・労働市場					
改定労働者派遣法施行と日本的雇用の激変	脇田 滋	職場の人権	4	00.5	
特集 現下の不況と雇用問題		季刊労働法	226	09.秋季	
雇用の変化が実務に与えた影響とその実態（丸尾拓養）		貧困・格差をめぐる諸問題と社会法（座談会）（菊池馨実 野田進 駒村康平 岩田正美）			
雇用問題に対する連合の取り組みと今後の課題（村上陽子）		貧困・労働問題についての日本弁護士連合会の取り組み（中村和雄, 小久保哲郎, 小川英郎）			
特集 これからのキャリア・職業能力開発		季刊労働法	226	09.秋季	
これからのキャリア・職業能力開発（諏訪康雄）		自発的学習を促進する公助（千葉登志雄）			
外部とのネットワーク化を前提とした内部労働市場における職業能力開発（石山恒貴）		キャリア形成の視点から見た労働者派遣の今後（亀島 哲）			
能力開発とキャリア形成の場としての社会人大学院その現状と発展に向けた課題（齊藤弘道）					
*たった1%の賃下げが99%を幸せにする	城 繁幸	東洋経済新報社	B6.197	09.3	
*雇用危機		ダイヤモンド社	A5.280	09.9	

22. 労働条件				
特集 大学非常勤教員の劣悪待遇を訴える	職場の人権	7	00.11	
大学における非常勤講師の地位と現状 (長澤高明) 大学非常勤教職員問題と教育と日本階層社会 (福田拓司)				
この人に聴く労使関係 (1) 嶋田一夫 聴き手: 仁田道夫, 渡辺章	中央労働時報	1107	09.9	
23. 賃金問題				
フランス自動車産業の雇用問題	荒井壽夫	経済	169	09.10
期待勤続年数と男女間賃金格差について	田中康秀	国民経済雑誌 (神戸大)	200-3	09.9
*最低賃金制度に関する研究		労働政策研究・研修機構	A4.76	09.10
24. 労働時間				
第18回国際労働統計家会議における「労働時間測定決議」	訳者: 水野谷志志	統計研究参考資料 (法政大)	103	09.9
労働時間性をめぐる最新判例解説	加茂善仁	労働法学研究会報	2462	09.10.1
26. パート・派遣労働				
非正規社員の多様化と基幹化	津崎克彦	一橋社会科学	7	09.8
派遣請負区分告示基準に関する新疑義応答集の解説	田原咲世	労働法学研究会報	2461	09.9.15
28. 女性労働				
平等への女たちの挑戦	宮地光子	職場の人権	5	00.7
正社員女性の職務満足度形成と子供ダミーに関する実証研究	白藤 香	学習院大学大学院経済学研究科・経営学研究科研究論集	17-1	09.3
*事業所における妊産婦の健康管理体制に関する実態調査報告書		女性労働協会	A4.173	07.3
*働く女性が35歳の壁を乗り越えるためのヒント	錦戸かおり	河出書房新社	B6.215	09.10
*企業における働く女性の妊娠・出産に関する健康管理支援実態調査報告書		女性労働協会	A4.195	09.3
*なぜ女は昇進を拒むのか	スーザン・ピンカー著 幾島幸子, 古賀祥子訳	早川書房	B6.459	09.6
*輝く女性の生き方 続	三根早苗編	本の泉社	A5.207	09.9
30. 若年労働				
特集 若者問題への接近 誰が自立の困難に直面しているのか ビジネス・レーパー・トレンド		415	09.10	
家族と福祉から排除される若者 (岩田正美) 自立の困難な若者の実態と包括的支援政策 (宮本みち子) 不可視化される女性の「若者問題」(パネルディスカッション) (金井淑子) 自立困難な若者の研究動向 (太郎丸博) 家族社会学の立場から (パネルディスカッション) (渡邊秀樹) 置き去りにされる若者たち (パネルディスカッション) (大津和夫) 地域の労働市場と職業教育 (小杉礼子)				
32. 障害者労働				
障害者の雇用の現状と課題	池田直樹	職場の人権	6	00.9
特集 障害者自立支援法施行後における就労支援の現状と今後の課題	職リハネットワーク	65	09.9	
就労継続支援A型事業所としての現状及び就労支援への取り組みについて (磯貝公隆) 自立支援法下の働くことを支える取組みの課題と展望 (赤松英知) 工賃倍増に向けた取り組み (高橋信二) 障害者の就労支援はどうあるべきか? (京極高宣) 企業に対する雇用支援の取組み (小野博也)				
イギリス障害者差別禁止法における使用者の合理的調整義務と法的・実践的争点 (2)	野村 晃	日本福祉大学社会福祉論集	119	08.8
障害者の就労と多様な「自立」支援策の必要性	石倉康次	立命館産業社会論集	44-3	08.12
改正障害者雇用促進法への企業の実務対応策	輪島 忍	労働法学研究会報	2460	09.9.1
*アスペルガー症候群の人の就労ハンドブック	ロジャー・N. メイヤー著 梅永雄二監訳	明石書店	A5.357	09.9
33. 外国人労働				
特集 外国人研修生問題を考える	リベラシオン	人権研究ふくおか	135	09.9
外国人研修・技能実習制度に関する中間報告 (福岡県人権研究所外国人部会) 支援者として研修生・技能実習生問題を考える (岩本光弘)				

35. 労災、職業病、健康問題

過労死大国ニッポン 勤労者は疲れている	ひろばユニオン	572	09.10
派遣社員自殺 佐川急便の過酷夜勤	ひろばユニオン	572	09.10
非正社員問題「全員正社員」の理想を掲げて	ひろばユニオン	572	09.10
特集 メンタルヘルス不調者の職場復帰	労働の科学	64-10	09.10
産業医にとっての復職判定(村上 稔) 職場復帰のポイント(鈴木安名) 職場復帰と法律問題(峰 隆之)			
*報道集3 トンネルじん肺根絶訴訟東北訴訟判決報道	全国トンネルじん肺根絶闘争本部	37cm.18	06
*和解報道集1 トンネルじん肺根絶訴訟東京高裁 平成19年6月20日和解(国)報道	全国トンネルじん肺根絶闘争本部	37cm.238	07
*アスベスト惨禍を国に問う			
大阪じん肺アスベスト弁護団, 泉南地域の石綿被害と市民の会編	かもがわ出版	A5.95	09.10
*ひまわりの絆	全国トンネルじん肺根絶闘争本部	A5.66	09.11
*いのちの絆・続	全国トンネルじん肺根絶闘争本部	B5.319	09.6
*いのちの絆・続 別冊	全国トンネルじん肺根絶闘争本部	B5.75	09.6

36. ハラスメント

今,なぜ〈職場の人権〉なのか?(シンポジウム)			
(パネラー:熊沢誠 井上二郎 上田育子 コーディネーター:伊田広行) 職場の人権		創刊号	99.11
企業社会のストレスといじめ	熊沢 誠	職場の人権	2 00.1
職場のセクシュアル・ハラスメント	信岡登紫子, 津村明子	職場の人権	4 00.5
*パワーハラスメント	金子雅臣	岩波書店	A5.63 09.11

Ⅲ 労働運動

40. 総記

日本の労働組合と人権	熊沢誠	コメンテーター:上田育子	職場の人権	8	01.1
労働の規制緩和	報告者:五十嵐仁	コメンテーター:岩佐卓也	職場の人権	60	09.9
特集 非正規従業員組合員の組合費の現状と課題			労働調査	480	09.10
パートナー組合員の組合費の現状と今後の課題(宮越信利) 非正規従業員の組合費の現状と課題(小菅元生)					
パートタイム従業員の組織化及び組合費の現状と今後の課題(長谷川紀子) 全日本たばこ産業労働組合におけるパート・契約社員の組織化と組合費の現状(戸田徹也) サービス・流通連合における有期雇用契約組合員会費の現状と課題(岡田 啓) 次なるステージは「結集力を高める一体感ある運動の展開」(春木幸裕)					

41. 労働組合・運動論

労働組合運動の新たな動向について(講演)(伊藤圭一)			金融労働調査時報	700	09.10
事業再生過程における労働組合の役割		藤本 真	日本労働研究雑誌	591	09.10
*わたしたちと労働組合	全日本金属情報機器労働組合編者		学習の友社	A5.78	09.10

43. 地域別、産業別共闘

特集 企業別労働組合の現在と未来	日本労働研究雑誌	591	09.10
戦後労働運動の第3の高揚期を生み出す新たな条件が生まれている(五十嵐仁) 労働組合の経済効果(外館光則) 企業別組合に何が出来るか(仁田道夫) 企業別組合における非正規従業員の組織化事例の示すこと(橋元秀一)			
*IMF世界大会 IMF-JC代表参加報告書 第32回	全日本金属産業労働組合協議会	A4.88	09.8

44. 単産、単組

*こくしゃれん	滝口忠雄編	国鉄写真連盟	21xA4.60	09.11
*新日本素労働組合旧蔵資料目録		熊本学園大学水俣学研究センター	B5.403	09.3
*遙かな汽笛	滝口忠雄	光村印刷	17xB6.47	92.2

45. 団体交渉、労働協約

団結権侵害を理由とする損害賠償法理(1)	道幸哲也	季刊労働法	226	09.秋季
雇用調整局面における「団体交渉」の法律実務	三上安雄	労働法学会報告	2460	09.9.1

46. 賃金闘争(含 生活改善闘争)				
特集	産別大会から秋期闘争の課題を検証	社会主義	568	09.10
	公共サービス労働者とともに闘う(武藤 聡)「教育改革」で現場はどうなったか(石橋 浩) 正念場を迎える雇用確保, 失業対策(山川藪沢) 完全統合効果を発揮し組織強化・拡大(池田雅人)			
49. 権利闘争				
	韓国における不当解雇等の労働委員会による救済	野田 進	季刊労働法	226 09.秋季
54. 労働者福祉・協同組合運動				
特集	新しい働き方を考える 協同労働, 社会起業家の可能性	労働調査	479	09.9
	働き方つくろうよ(藤木千草) 協同労働の協同組合法制化をめざして(管 剛文) 社会起業家・社会的企業の意義と課題(林 大樹) 社会起業家という働き方(駒崎弘樹) 協同労働という働き方(富沢賢治) 協同労働で担う公共施設管理運営の実践(櫻井きの未)			

IV 経営労務

60. 総記				
特集	「道を拓く」	産政研フォーラム	83	09.Autumn
	経済危機・産業危機・企業危機(藤本隆宏)「ワーク・ライフ・バランス社会」の実現と働き方の改革(佐藤博樹) 経営を支える三つの精神(加護野忠男)			
特集	経済危機を生きぬき, 営業と生活を守る運動を	中小商工業研究	101	09.10
	介護保険一〇年の検証と介護人材確保の課題(桑本文幸) 若者を正社員として雇うことが第一歩(高橋伸夫) 中小業者への「緊急休業補償制度」確立のために(中山 真) 一〇年目に入った介護保険, その現状と課題(林 泰則)			
	*人材ビジネスの現状と展望 4			
	佐藤博樹, 佐野嘉秀編	東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門	B5.90	09.3
61. 人事・労務管理				
	企業環境の変化と日本型人的資源管理の近代化	太田 肇	経済論叢(京都大)	181-1 08.1
	*なぜこの会社はモチベーションが高いのか	坂本光司	商業界	A5.213 09.10
	*御社の「就業規則」, ここが問題です!	北村庄吾, 桑原和弘	実務教育出版	A5.237 09.9
	*職場は感情で変わる	高橋克徳	講談社	B40.238 09.9
62. 賃金管理				
	*モデル賃金・年取と昇給・賞与 2010年版		労務行政研究所	B5.295 09.11
64. 定年制, 退職金, 企業年金				
	企業年金の変遷とそのゆくえ	石田重森	週刊社会保障	2549 09.10.5
66. 教育・訓練				
	専門能力を持つ人的資源の開発における企業間協力の考察			
		若林直樹	経済論叢(京都大)	181-1 08.1
	サステナブル社会形成の動きに人材育成はどう対応すべきか(講演)			
		(藤原靖也)	産業訓練	648 09.9/10
特集	次世代リーダーに求められる能力		産業訓練	648 09.9/10
	「常識なんかぶっ飛ばせ」という人材育成(米倉誠一郎) 次世代リーダーには経験に裏打ちされた洞察力を(杉原徹哉) センシティブに社会の要請に応えられる人材(郷原信郎)			
特集	人事・人材開発担当役員が語るこれからの戦略的人材育成のあり方			
		人材教育	250	09.10
	人材開発責任者に今こそ求められる“生きた”統合的人材戦略(下山博志) 自ら学ぶ風土を土台に経営と現場のニーズに合った次世代リーダーを育成(青木 寧) 環境の変化に合わせて人材戦略を変える柔軟性を持つ(三瓶美成) 新たな価値創造のため多様な経験を積みませ幅広い視点を持たせる(川原卓郎) 自分の頭で考えられる自律型人材の育成こそが生き残りのカギ(米山淳二) 自主性を尊び, 自ら這い上がる人材にチャンスを与える(鉄林 修) 多様な価値観, 個性を受容し新たな価値を創造するリーダーを育てる(石川裕子)			
	*OJTの基本	寺澤弘忠, 寺澤典子	PHP研究所	B40.269 09.10

67. リストラ・雇用				
*天下りの研究	中野雅至	明石書店	A5.534	09.9
68. 安全衛生管理				
セーフティーネットは機能しているか	報告者：笹尾達朗	コメンテーター：舟木浩	職場の人権	60 09.9
*上司・リーダーのためのメンタルヘルス	畔柳 修	同文館出版	A5.127	08.6
*職場の安全と健康	木村大樹	エイデル研究所	A5.911	09.9
V 労働・社会政策				
70. 総記				
特集 男女共同参画と格差社会		女性学	16	09.3
「男女共同参画政策」は今どこにいるのか(皆川満寿美) 青森県における男女共同参画の現状と課題(小山内世喜子) 「(日本型) 男性労働の縮小あるいは消去」としての格差社会化(海峯径子)				
地域資源を活かした内需型産業振興と地域再生政策	吉田敬一	季刊自治と分権	37	09.10
まちづくりの未来を考える(シンポジウム)				
(パネリスト：宮本憲一 中谷健太郎 コーディネーター：入谷貴夫)		季刊自治と分権	37	09.10
特集 ホームレスの実態と政策課題		季刊社会保障研究	45-2	09.Autumn
ホームレス自立支援をめぐる法的課題(菊池馨実) 自立支援センター利用ホームレスの就業・退所行動(道中隆, 田中聡一郎, 四方理人, 駒村康平) 誰が路上に残ったか(阿部 彩) 脱路上生活者の就労継続期間の分析(鈴木 亘) 「住居喪失」の多様な広がりとはホームレス問題の構図(岩田正美)				
特集 「教員の地位勧告」を教育にいかそう				
世界に広がるCEART勧告	クレスコ		103	09.10
京都・高橋事件判決とCEART勧告の意義(村山 晃) CEART勧告にみる教師専門職性の発達(八木英二) 〈ILO・ユネスコ「教員の地位勧告」とCEART勧告を教育にいかす国際シンポジウム〉(2009年6月13~14日)における海外代表のまとめの発言より(ロジェ・フェラーリ, イアン・レッキー) 教員の地位勧告から読む教師の仕事と子どもの権利(堀尾輝久)				
「官製ワーキング・プア」と自治体の役割(対談)				
(川西玲子 小林雅之)	経済		170	09.11
労働政策—民主党政権の課題	濱口桂一郎	現代の理論	21	09.10
高齢者にやさしい「まち」づくりを目指して	増田安代	産業経済研究(久留米大)	50-2	09.9
特集 国際比較パネル調査による少子社会の要因と政策的対応に関する総合的研究				
「世代とジェンダー」に関する国際比較研究(フェーズ2)		人口問題研究	65-3	09.9
離家とパートナーシップ形成タイミングの日米比較(菅 桂太) 夫のワーク・ライフ・バランスが妻の出産意欲に与える影響(西岡八郎, 星敦士)				
地域社会に「連帯経済」のアミを編もう	柏井宏之	進歩と改革	694	09.10
NPOによるエコ・グリーンツーリズムと地域及び企業連携	若林憲子	地域政策研究(高崎経済大)	12-1	09.7
地域コミュニティ支援をめぐる構造と課題(1)	桜井常矢	地域政策研究(高崎経済大)	12-1	09.7
民間主体が主導するまちの再生	河藤佳彦	地域政策研究(高崎経済大)	12-1	09.7
個人化, そして社会参加と自己責任論の対立を超えて	山口 宏	日本福祉大学社会福祉論集	119	08.8
高浜市地域福祉計画の検証	平野隆之, 榊原美樹, 澤田和子, 朴兪美	日本福祉大学社会福祉論集	119	08.8
就職困難者の貧困と社会的排除	福原宏幸	部落解放研究	187	09.10
格差と貧困の諸問題(上)	松葉正文	立命館産業社会論集	44-3	08.12
舞鶴市における子育ての実態とニーズに関する調査研究				
前田明日香, 荒井庸子, 張鏡, 井上洋平, 荒木穂積, 竹内謙彰		立命館産業社会論集	44-3	08.12
格差と貧困の諸問題(下)	松葉正文	立命館産業社会論集	44-4	09.3

特集	セーフティネット論再考	連合総研レポートDIO	241	09.9
	社会的セーフティネットの機能強化と労働組合の役割 (小島 茂) 失業と生活のセーフティネットをいかに張り直すか—社会保障法の視点 (丸谷浩介) 雇用危機とセーフティネット—労働法の役割をめぐって (石田眞)			
71. 雇用・労働市場政策				
	雇用多様化時代の戦略を考える	中野麻美	職場の人権	2 00.1
特集	雇用・労働政策の変容		社会政策	1-3 09.9
	雇用保護法制改革と雇用 (白井邦彦) 最近のILO・国連のジェンダー雇用平等政策と日本の課題 (堀内光子) 新自由主義下における労働の規制緩和 (五十嵐仁) 韓国労働政策の動向と非正規労働者 (呉 学殊) 雇用・労働政策の変容 (遠藤公嗣)			
76. 社会保障政策				
	韓国の老人長期療養保険制度の成立背景と特徴	徐東敏, 近藤克則	社会政策	1-3 09.9
特集	諸外国における高齢者への終末期ケアの現状と課題		海外社会保障研究	168 09.Autumn
	フランスにおける終末期ケアの現状と課題 (松田晋哉) ドイツにおける終末期ケア (藤本健太郎) イギリスにおける終末期ケアの歴史と現状 (加藤恒夫) オランダにおける終末期ケアの現状と課題 (廣瀬真理子) オーストラリアの高齢者緩和ケアの現状と課題 (福田裕子)			
特集	社会保障で経済再建へ		経済	170 09.11
	社会保障構造改革の破綻と転換 (横山壽一) 貧困対策と生活保護の改革課題 (布川日佐史) 社会保障の拡充のための経済財政論 (川上則道)			
特集	介護保険制度 導入から10年の現実		月刊保団連	1013 09.10
	介護難民 行き場を失う要介護者 (林 泰則) 介護従事者の意識と定着への課題 (田中雅子) 介護保険の10年 市場化路線の破綻と介護保障への転換 (岡 祐司)			
	年金制度の何が改革されるべきか	駒村康平	現代の理論	21 09.10
	介護保障と介護者支援 (1)	三富紀敬	静岡大学経済研究	14-1 09.7
	地域医療・地域ケアのマネジメントの基本要素	小松裕和, 岩瀬敏秀	社会保険旬報	2401 09.10.1
	社会保障のネオパラダイムを求めて (17)	田中謙一	社会保険旬報	2400 09.9.21
	全国病院事務長の医療意識に関する実態調査	木村加奈子, 佐久間夕美子, 宮内清子他	社会保険旬報	2400 09.9.21
	公的年金が備えるリスクとは	長沼建一郎	週刊社会保障	2549 09.10.5
特集	社会保障読本2009年版 「医療・年金・介護等の現状と将来」		週刊社会保障	2548 09.9.21/28 秋季特別号
	年金制度の課題と将来 (江口隆裕) 企業年金制度の課題と将来 (若杉敬明) 介護保険制度の現状と将来 (増田雅暢) 少子化対策の課題と展望 (棕野美智子) 労災保険・雇用保険の課題 (山口浩一郎) 社会保障制度改革の視点 (清家 篤) 医療保険制度の課題と将来 (鳥崎謙治) 高齢者医療制度の見直しに向けて (石田重森) 診療報酬制度の課題と将来 (大道 久) 医療提供体制の課題と展望 (尾形裕也)			
	社会保障の現状と課題を分析	増田雅暢	まなぶ	626 09.10
特集	いのちと向き合って		民医連医療	446 09.10
	ケアに関わる倫理 (講演) (勝原裕美子) 診療所における医療倫理に関わる取り組み (大島民族) 終末期医療における各ガイドラインの整理と考え方 (安田 肇) 「いのち」 (講演) (肥田舜太郎)			
77. 社会福祉政策				
	介護職のレベルアップを図る人材育成	川添チエミ	介護人材Q&A	6-60 09.10
	ケアから見える看護師と介護職の役割	大石信子	介護人材Q&A	6-60 09.10
	韓国における保育機関の公共性と保育の質	勅使千鶴	子ども発達学論集 (日本福祉大)	1 09.3
	タイにおける高齢者福祉の制度と政策的課題	河森正人	アジア太平洋論叢 (大阪外国語大)	18 09.7
	家族介護者の支援と介護従事者の確保・育成	松本勝明	社会政策	1-3 09.9
特集	障害者権利条約から地域生活を検証する		季刊福祉労働	124 09.Autumn
	権利条約に基づき、「自立支援法」に代わる障害者総合福祉サービス法を! (尾上浩二) 疾病・臓器別で入り口規制されない, 生活ニーズに基づいた障害範囲の改正は急務 (山本 創) 社会システムの混乱と障害者地			

域生活の変遷（矢吹文敏）ベンチレーター使用者の自立生活とは（藤原勝也）精神障害のある人の生きる権利を保障するために（三石麻友美）精神障害者が地域で暮らすとき（山中雅子）知的障害者の地域生活支援の立場から（藤内昌信）入所施設や精神科病院を出て、自分らしい暮らしを創る権利（三田優子）

特集 介護をめぐる実態	人権と部落問題	61-12	09.10
誰もが安心できる高齢者福祉を求めて（望月みはる）地域での高齢者の実態と人権を守る介護事業所の取り組み（丹波正史）介護を要する人たちの支えとして（浦野喜代美）実践を通して何が問われているのか（石倉康次）			
社会福祉事業の展開と福祉経営の枠組み	関口和雄	日本福祉大学経済論集	38 09.3
特別養護老人ホームで働くケアワーカーならびに看護師の終末期ケアに対する考え方とその課題	北村育子, 牧洋子, 石井京子	日本福祉大学社会福祉論集	120 09.3

78. 労働法

個別合意による労働条件変更	北山宗之	季刊労働法	226	09.秋季
就業規則法理の再構成	川口美貴, 古川景一	季刊労働法	226	09.秋季
中小企業に対する労働法規制の適用除外	大内伸哉, 大木正俊, 山本陽大	季刊労働法	226	09.秋季
中小企業に対する労働法規制の適用除外	本庄淳志	季刊労働法	226	09.秋季
中小企業に対する労働法規制の適用除外	李 玉春	季刊労働法	226	09.秋季
当事者の自立的規制を促すしくみ	内藤 忍	季刊労働法	226	09.秋季
フランスの最低所得保障 活動的連帯所得（RSA）	関根由紀	季刊労働法	226	09.秋季
労働法の立法学（20）	濱口桂一郎	季刊労働法	226	09.秋季
ドイツ有限会社法における少数派社員の保護に関して	梶浦桂司	札幌法学	20-1/2	09.3
特集 障害者自立支援法, 集団訴訟へ		賃金と社会保障	1498	09.9.下旬
意見陳述～原告の思い 障害者自立支援法と介護保険法（下）（伊藤周平）社会保険庁長官の障害認定に異議あり（青木久馬）障害者自立支援法の「本質」（藤岡 毅）				
いまさら聞けない!? 雇用のルール（6）	大内伸哉	労働基準	61-9	09.9
* 蓼沼謙一著作集 第7巻	蓼沼謙一	信山社出版	A5.424	09.10
* 労働条件保護法の展開	井上修一	晃洋書房	A5.234	09.10

79. 労働判例

労災事故における被害者の既疾患が寄与した場合と民法722条2項の類推適用	中澤文彦	季刊労働法	226	09.秋季
整理解雇の効力	小畑史子	労働基準	61-9	09.9
法人格否認の法理の適用における雇用責任の帰属方	野田 進	労働法律旬報	1704	09.9.下旬
高年法上の「継続雇用制度」該当性	山下 昇	労働法律旬報	1703	09.9.中旬
特集 非常勤職員への手当支給問題 枚方市非常勤職員事件		労働法律旬報	1703	09.9.中旬
枚方市非常勤職員事件と自治労連弁護団の視点（豊川義明, 城塚健之, 河村学, 中西基）裁判を通したもうひとつのたたかい（西中浩二）非常勤職員も市民サービスを担う労働者（端野真理）地方自治体における一般職の常勤の非常勤職員と地方自治法二〇三条・二〇四条の適用関係について（前田達男）地方公務員の給与条例における委任の範囲（晴山一穂）枚方市非常勤職員事件と自治労弁護団の視点（小川正, 北本修二, 永嶋靖久, 七堂真紀）				
* 労働関係紛争における「裁判外紛争解決」の手引き	河野順一, 寺田知佳子	中央経済社	A5.710	09.9

80. 労働委員会

労働委員会再生—労働委員会活性化に向けて（講演）（菅野和夫）		月刊労委労協	641	09.9
* 不当労働行為事件命令集《19年5月～8月・138（1）,（2）》				
	中央労働委員会事務局	A5.919, A5.921-1578	09	
* 宮崎県労働委員会年報 平成20年版	宮崎県労働委員会事務局	A4.112	09	

VI 世界労働

90. 総記			
* データブック国際労働比較 2009	労働政策研究・研修機構	A5.303	09.3
91. アジア			
韓国労働運動に学ぶ	梁 吉順	職場の人権	8 01.1
在中日系企業における国有企業経験者の役割に関する研究	戴 秋娟	学習院大学大学院経済学研究科・経営学研究科研究論集	17-1 09.3
* ワークシェアリングの現状と課題：日韓比較		労働政策研究・研修機構	A4.60 09.9
93. ヨーロッパ			
人間らしい労働を求めて	保原喜志夫	季刊労働法	226 09.秋季
99. ILO, 国際機関			
国際労働条約からみた職場の人権	根本 到	職場の人権	6 00.9
特集 ILO創立90周年・日本ILO協会創立60周年		世界の労働	59-8 09.8/9
ディーセントワーク推進に向けた日本の役割（赤尾信敏）ディーセント・ワークの実践に向けて（伊丹敬之） 幾つかの危機を乗り越えてきたILO（安藤篤之）			
特集 第98回ILO総会の概要		世界の労働	59-8 09.9
「グローバル・ジョブズ・パクト（世界雇用協定）」を採択（座談会）（村木太郎 鈴木俊男 中嶋滋 司 会：中村正）基準適用委員会に参加して（報告）（生澤千裕）「HIV/AIDSと仕事の世界」をめぐる討議につ いて（報告）（明石祐二）ディーセント・ワークの中心にあるジェンダー平等（報告）（山口洋子）危機対応 に関する全体委員会の概要（報告）（高澤滝夫）ILOサミットの概要（長谷川眞一）			

VII 歴史

100. 総記			
特集 パターナリズムの国際比較	大原社会問題研究所雑誌	611/612	09.9/10
スウェーデンにおけるパターナリズムと市民的公共性（クリステル・エリクソン, ビョン・ホリビィ 訳： 石原俊時）フランス・パターナリズムの史的考察：19-20世紀（アラン・シャトリオ 訳：廣田明）近代日 本の経営パターナリズム（榎 一江）			
* ロシアの夢		アートインプレッション	A4.203 09
* 検閲と文学	紅野謙介	河出書房新社	B6.219 09.10
* 憲法9条と25条・その力と可能性	渡辺 治	かもがわ出版	B6.286 09.10
* 日録・新島繁の足跡		岡野正	B5.37 09.11
* 二つの戦後・二つの近代	望田幸男	ミネルヴァ書房	B6.215 09.3
* 部落問題の歴史的展開	吉田徳夫	プレアデス出版	A5.205 09.5
* 「下山事件」謀略論の歴史	佐藤 一	彩流社	B6.361 09.9
* 東京大学エリート養成機関の盛衰	橋本俊詔	岩波書店	B6.325 09.9
* 貧困の救いかた スティーヴン・M. ボードイン著	伊藤茂訳	青土社	B6.267 09.9
* 松本重治伝	開米 潤	藤原書店	B6.445 09.9
101. 生活・労働史（日本）			
野原建一著『たたら製鉄業史の研究』を巡って（座談会） （参加者：野原建一 佐々木稔 小野崎敏 村串仁三郎 司会：萩原進）経済志林（法政大）			77-2 09.9
102. 生活・労働史（外国・国際）			
1980年代フランスにおける外国人労働者	植木 洋	経済論叢（京都大）	181-3 08.3
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史（日本）			
高度経済成長期の「婦人労働」研究	大森真紀	早稲田社会科学総合研究	10-1 09.7
105. 社会事業・慈善事業史			
石井十次と朝鮮半島	安東邦昭	石井十次資料館研究紀要	10 09.8
設立前後の財団法人石井記念愛染園の財政内容とセツルメント実践の概要			
	菊池義昭, 若林義輝	石井十次資料館研究紀要	10 09.8

*本所賀川記念館四十年の歩み	本所賀川記念館40年誌編集委員会編	本所賀川記念館	B5.140	09.10
*劇画死線を越えて	賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト監修	家の光協会	A5.191	09.11
107. 社会・労働政策史（外国・国際）				
フランス家族政策の歴史的展開	深澤 敦	経済	170	09.11
108. 労働運動史（日本）				
国鉄改革を超えて（一）～（四）	春岡耕造	進歩と改革	691～694	09.7～09.10
*最後の総評事務局長と呼ばれて	真柄栄吉	全日本自治団体労働組合新潟県本部真柄栄吉回想記編纂委員会	A5.365	09.4
110. 社会主義運動史（日本）				
*伊藤千代子の故郷諏訪を往く		伊藤千代子の会	A5.30	05.7
112. 諸社会運動史				
戦後後期の国立公園制度の整備・拡充（6）	村串仁三郎	経済志林（法政大）	77-2	09.3
特集 「大阪の部落史」完結を記念して		部落解放研究	187	09.10
大坂賤民法制の構造と特質 覚書（のび しょうじ）考古学による部落史の試み（積山洋，別所秀高）壬申戸籍の編成（北崎豊二）				
*全国のあいつぐ差別事件 2008年版，2009年版		部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会（発売：解放出版社）	A5.158, A5.159	08.10, 09.11
*戦後日本，中野重治という良心	竹内栄美子	平凡社	B40.264	09.10
*治安維持法とわたし 戦後編	桑原英武	日本機関紙出版センター	A5.199	09.10
*日本国憲法攻防史	川村俊夫	学習の友社	A5.143	09.9
*農村協同体への道	根本瑛編	国民運動研究会	B6.38	39.5
*東北地方農民運動の記録	一橋大学社会学部藤原研究室太平洋戦争史研究会		B5.75	50.1
*農民運動者（戦前）氏名調査		農民組合史刊行会	B5.23	57.2
*私の農民教育の実践	浪江 虔	国際連合大学	B5.75	81

【協調会史料】 法政大学大原社会問題研究所 監修／協調会研究会（梅田俊英・高橋彦博・横関至）編

■労働問題を「人」の問題として捉えた最初期の雑誌
労働雑誌『人と人』復刻版【第1回配本】

菊判上製 全11巻 総6,000頁 揃294,000円

広く労働者の購読に供する目的で、1921年に協調会が創刊した大衆啓蒙雑誌を全2回配本で復刻。教育の機会均等の必要を論じ、無産政党の動向を詳報、文化記事も充実。

■わが国労働安全運動の源流と展開過程が明らかに

『産業福利』復刻版【全3回配本】

[I] 1927～33年] A4判上製 総2,710頁 揃294,000円

[II] 1934～38年] A4判上製 総2,814頁 揃294,000円

[III] 1939～44年] A4判上製 総2,500頁 揃294,000円

■大原社研が保管する膨大な協調会基幹史料を公開

日本社会労働運動資料集成I・II

（マイクロフィルム版）

[I] 1920～30年代] 全114リール 揃2,730,000円

[II] 1931～40年] 全62リール 揃1,575,000円

■歴史的価値の高い精密な生活実態調査の記録

都市・農村生活調査資料集成I・II

[I] A5判上製 全12巻 総4,760頁 揃262,500円

[II] A5判上製 全12巻 総6,080頁 揃262,500円

柏書房

〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14 TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255

<価格税込>